

ポリオ集団予防接種日程表

Table with 3 columns: 1回目 (Date), 2回目 (Date), 会場 (Venue). Lists vaccination dates from July 3 to July 24 and corresponding venues across various districts.

※健康福祉会館・鶴川市民センター・小山市民センターでは混雑を緩和するために日程ごとに対象地区を設定しています。ただし、お子さんの体調等により別の日に変更していただいて結構です(健康課への連絡は不要)。

①既往症健康調査票(発行日から5か月間有効です。町田市医師会加入の指定医療機関にお子さんをお連れの際は作成してもらって下さい。無料です。なお、重い病気等のやむをえない理由で指定医療機

問健康課 ☎ 725・5414
健康福祉会館(原則として住所が原町田・森野・中野・旭町・玉川学園・南大谷以外のお子さんが対象です)

健康案内
予防接種・ポリオ

関以外にかかっている場合は、事前に健康課へご連絡下さい。お持ちにならないと受付できません(②予防票) お持ちでない方には会場でお渡しします(③母子健康手帳)

お知らせ
お知らせ

ご案内
家庭福祉員
募集します
多様化している保育ニーズに対応するため、集団保育と異なるサービスを提供する家庭福祉員を募集します。

募集
高年齢者福祉窓口相談員
嘱託職員

①高年齢者福祉窓口相談員
②保健師
嘱託職員
①介護支援専門員資格を有する方②保健師の資格を有する方、各1人

勤務期間 7月1日～2010年3月31日
勤務日時 ①月16日午前8時30分～午後5時15分②週29時間程度

選考書類審査と面接
※詳細はお問い合わせ下さい。
申履書に必要事項を明記し、直接または郵送で6月19日まで(必着)に高齢者福祉課(〒194-8520、中町1-20-23、☎724・4048)へ。

公開している会議 傍聴のご案内

Table with 5 columns: 会議名 (Meeting Name), 日時 (Date/Time), 会場 (Venue), 定員 (Capacity), 申し込み (Application). Lists meetings like '町田市教育委員会第3回定例会' and '第六回町田市スポーツ振興審議会'.

町田市教育委員会第3回定例会
6月19日(金) 午前10時から
森野分庁舎4階会議室
5人(申し込み順)
事前に電話でスポーツ振興課(☎724・4036)へ。

新庁舎のはなし①

市では、新庁舎建設の計画を進めてきましたが、いよいよ今年の秋から工事に着手することになります。そこで、これまでの検討経緯等について、シリーズで振り返ります。

Q. どうして新庁舎が必要なのですか?
A. それは、次のような問題があるからです。

- <耐震性能の不足>
現庁舎は、1970年に開庁しましたが、その後、大規模な地震の度に建築基準法が改正され、現在の耐震基準を満たさない建物となっています。
この状態から、現庁舎を災害復興拠点となりうるような堅固な建物とするには、大規模な耐震補強工事が必要となり、多くの経費を投入しなければなりません。しかも、庁舎自体、建設から約40年が経過し老朽化しており、かかる費用と建物の寿命、使い勝手なども含めて総合的に判断すると、耐震補強工事は問題を解決する手段とはなりません。
<庁舎の狭あい化・分散化>
現庁舎が開庁した当時の市の人口は約18万人でしたが、現在では開庁当時の2倍を超える約42万人となりました。このため、人口増加に比例して市役所の業務量も職員の数も増加し、庁舎の狭あい化が進むことになりました。
現庁舎の開庁当時の計画では、人口増とともに、建物の上階に増築する計画もありましたが、建築基準法の改正によりそれもできなくなり、手狭になった庁舎を補うために、民間から土地建物を借上げて分庁舎を設置したり、市所有の既存の出先機関の一部を利用するなど、本来、本庁舎にあるべき機能が分散配置されるようになりました。このため、1か所で用事を済ませることができない場合があるなど、市民のみなさんにご不便をおかけしています。
<庁舎にかかる経費の増加>
庁舎の分散化が進んだ結果、分庁舎の経費(賃料・管理費等)は年間約6億円にのぼっています。現庁舎は、仮にこのまま使用し続けたとしても、老朽化により近い将来建て替えが必要となります。それまで分庁舎に毎年約6億円の経費を投入しなければなりません。
新庁舎の建設にかかる費用は、単年度に負担がかからないよう、全て基金(積立金)、補助金、地方債(借金)で賄う計画となっており、地方債の毎年の返済額を考えても、このまま分庁舎を使い続けるより、新庁舎を建設して分庁舎をなくす方が経費の縮減につながります。

この他にも、建物の老朽化によるIT対応への遅れや、狭あい化に起因する市民協働空間の不足などの問題点が指摘されています。新庁舎建設は、これらの問題を抜本的に解消するために行われるものです。
市では、こうした庁舎問題を解決するために、新庁舎の計画策定の当初から市民を交えた検討を続けてきました。今回は、市民参加による検討の経緯について振り返ります。

そろそろ本格的に雨の季節になります。広袴町の田んぼにも水が入り、田植えが始まりました。ちょっと曇りがちの朝には、ホトトギスの声が上空から聞こえてきます。ホトトギスは夜半に鳴くこともあり、鳴き声が夜空を渡るのも初夏の風情のひとつです。
5月の後半は真光寺川のあたりでも、夏鳥が渡りの途中に立ち寄ってゆきます。オオヨシキリ、エゾムシクイやメボソムシクイなどウグイス科

の野鳥もさえずりを聞かせてくれました。メボソムシクイは高山帯で繁殖する鳥ですが、そのメボソムシクイのジュリジュリ、ジュリジュリという囀りが市役所の前庭のコンラの林から聞こえてきたのはちょっと驚きました。
さて、先日、ラリーシボール卓球の大会が町田市総合体育館であると聞いて出かけました。近隣の各市だけでなく関東地方全体から、遠くは岩手県から、500人も参加者

が集まっていました。参加者の大半は高齢者で最年長は86歳の方だそうです。この卓球は、始めからシニア向けスポーツとして考案されたもので、使われるボールは普通の卓球のそれより一回り大きく、その分打球のスピードが遅くなり、ラリーが続くのが特徴だということですが、それにしても、見たところ、打球の速さと言いつつ、スマッシュを拾うフットワークと言いつつ、とても高齢者とは思えない試合振りに感心しました。



カワセミ通信 32

町田市長 石阪丈一

にふさわしいスポーツもいろいろあります。健康づくりと相互の親睦、仲間作り。これからの、スポーツの持つ魅力が活きるまちをつくって行きたいものです。